

若江漢字とヨーゼフ・ボイス 撮影されたボイスの記録、そして共振 Wakae Kanji + Joseph Beuys with Photographed Documents of Beuys in Japan + Europe

2025年11月15日（土）－2026年2月23日（月・祝）

神奈川県立近代美術館 葉山



〔左〕若江漢字《時の光の下に II（死の島）》1989–2024年 photo: Koda Mori

〔右〕若江漢字撮影「ヨーゼフ・ボイス ドクメンタ7でのアクション 1982年6月30日」

若江漢字（わかえ・かんじ/1944–）は、1970年代のドイツ滞在を機にヨーゼフ・ボイス（Joseph Beuys/1921–1986）の芸術に共鳴し、彼と交流するなかで、ボイス作品をはじめとする現代美術の収集と展示など、自らの創作活動と並行して芸術と社会を結ぶ行為を続けてきました。ドクメンタ7でのアクション（パフォーマンス）や来日の際に若江がボイスの姿を間近で撮影し、またドイツ内外で主要なボイス展を撮影した写真は、貴重な証言であると同時に若江の作家的視点を伝えます。多くが初公開となる記録写真と並行して二人の造形作品を展示し、両者の共通項と独自性を考察します。

展覧会のみどころ

1. ヨーゼフ・ボイスのドキュメント写真を多数初公開

第二次世界大戦後、西ドイツ（当時）のカッセルで始まった国際美術展「ドクメンタ」。1982年第7回会場でのボイスのアクションを最前列で見ていた若江は意図せず壇上に上げられ、至近距離から撮影する機会を得ました。これらの貴重な写真を始め、1984年のボイスの日本滞在をとらえた記録写真などをニュープリントとプロジェクションで紹介します。

2. 若江漢字の初期作品から最新インスタレーションまでをボイスのマルチプルとともに紹介

神奈川県立近代美術館では鎌倉館での個展「時の光の下に」（2004年）以来となる若江漢字の大規模な展示。今回は、初期作から新作にわたる若江の代表的な仕事、若江が横須賀市に設立したカサヤの森現代美術館が所蔵するボイスのマルチプル、そして若江撮影のボイス記録写真の3つによって会場を構成し、若江とボイスの造形の軌跡を概観する機会となります。

開催概要

展覧会名：若江漢字とヨーゼフ・ボイス 撮影されたボイスの記録、そして共振
主催：神奈川県立近代美術館
協力：カスヤの森現代美術館、株式会社フレームマン
助成：公益財団法人DNP文化振興財団
担当学芸員：三本松倫代、朝木由香
会期：2025年11月15日（土）－2026年2月23日（月・祝）
会場：神奈川県立近代美術館 葉山
開館時間：午前9時30分－午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：月曜日（11月24日、1月12日、2月23日を除く）、12月29日－1月3日
観覧料：一般1,200（1,100）円／20歳未満・学生1,050（950）円／65歳以上600円／高校生100円

- ・（ ）内は20名以上の団体料金です。
- ・ 中学生以下の方と障害者手帳等、ミライロIDをご提示の方（および介助者原則1名）は無料です。
- ・ 企画展「若江漢字とヨーゼフ・ボイス 撮影されたボイスの記録、そして共振」の観覧券で同日に限りコレクション展「没後10年 江見絹子 —1962年のヴェネチア・ビエンナーレ出品作品を中心に—」をご覧ください。
- ・ ファミリー・コミュニケーションの日（毎月第1日曜日：12月7日、1月4日、2月1日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金（65歳以上の方を除く）で観覧いただけます。また毎月第1日曜日は会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」となりますので、小さなお子様連れの方も遠慮なくご覧ください。
- ・ その他の割引につきましてはお問い合わせください。
- ・ 最新情報と来館に際してのお願いは美術館ウェブサイト等をご確認ください。

お問合せ先

広報担当：葉山、太田原、加藤
神奈川県立近代美術館 葉山
Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968
E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.lg.jp
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
www.moma.pref.kanagawa.jp

出品作家について

若江 漢字（わかえ・かんじ）略歴

横須賀に生まれる。グラフィックデザインと版画を学び、1960年代後半から写真を用いたコンセプチュアルな平面作品などをサンパウロ・ビエンナーレ（1973年）ほか国内外で発表。1970－90年代にはドイツと日本で制作。ドクメンタ7（1982年）でボイスのアクションを間近に記録し、その後ボイスの知遇を得て取材や共同制作を行った。1984年、横須賀市にカスヤの森現代美術館を創設。

ヨーゼフ・ボイス（Joseph Beuys）略歴

ドイツのクレーフェルトに生まれる。第二次世界大戦従軍後、デュッセルドルフ美術アカデミーで彫刻を学び、1961年より同校教授。人間の創造行為を思考活動や社会運動へと「拡張された芸術概念」として捉え、ドクメンタやヴェネチア・ビエンナーレなど世界各地での作品展示に並行して教育や政治活動を実践。1984年には西武美術館での個展に際して来日し、対話集会やナムジュン・パイクとのコンサートを行った。

関連企画

若江漢字によるギャラリートーク

日時：11月15日（土）、12月6日（土）、12月13日（土）[ゲスト：水沢勉]、1月10日（土）
11月15日は午後3時30分－4時、その他は各日午後2時－2時30分（予定）

場所：葉山館 展示室

パフォーマンス

日時：12月6日（土）午後3時－4時（予定）

出演：Project Blue Print（欣侘東生、宮崎蓉子）[ゲスト：若江漢字]

場所：葉山館 展示室

日時：1月10日（土）午後3時－4時（予定）

出演：Jun Futamata [ゲスト：若江漢字]

場所：葉山館 展示室

詳細とその他のイベント等は美術館ウェブサイトをご確認ください。

関連情報

本展と同時期にカスヤの森現代美術館（神奈川県横須賀市）で若江漢字の個展が開催されます。併せてお楽しみください。

「若江漢字 絵画という問いⅠ」

会場：カスヤの森現代美術館

会期：11月15日（土）－2026年2月23日（月・祝）

開館時間：午前10時－午後5時30分（入館は午後5時00分まで）

休館日：月・火・水曜日、12月23日（火）－2026年1月3日（土）

* 詳細はカスヤの森現代美術館ウェブサイトをご確認ください。

(<http://www.museum-haus-kasuya.com/>)

同時開催の展覧会

葉山館 展示室3b

11月15日（土）－2026年2月23日（月・祝）

コレクション展「没後10年 江見絹子 —1962年のヴェネチア・ビエンナーレ出品作品を中心に—」

鎌倉別館

11月1日（土）－2026年2月1日（日） 企画展「川口起美雄 Thousands are Sailing」

2026年2月21日（土）－5月17日（日） 企画展「福田尚代 あわいのほとり」

広報用画像データ一覧

本展広報のための画像データ(印刷用350dpi／オンライン用72dpi)をご用意しております。
ご希望の場合は次の必要事項を明記し、広報担当宛にEメールでお申し込みください。

展覧会名／希望画像アルファベット／データサイズ(350 dpi or 72 dpi)／社名／媒体名／掲載予定日
／担当者名／連絡先

- A) 若江漢字《様態（小石）-70》1970年
- B) 若江漢字《絵ノ具-72-V》1972年
- C) 若江漢字《楽園追放》2010年
- D) 若江漢字《水に関する3つの設問（から）》2016年
- E) 若江漢字《時の光の下にII（死の島）》1989-2024年 photo : Koda Mori
- F) 若江漢字撮影「ヨーゼフ・ボイス ドクメンタ7でのアクション 1982年6月30日」
- G) 若江漢字撮影「ヨーゼフ・ボイス デュッセルドルフのアトリエで 1982年11月15日」
- H) 「ヨーゼフ・ボイスの足型を取る若江漢字 デュッセルドルフ、ボイスのアトリエの庭 1983年7月16日」撮影：若江栄辱
- I) 若江漢字撮影「展示作業中のヨーゼフ・ボイス 東京、西武美術館 1984年5月31日」

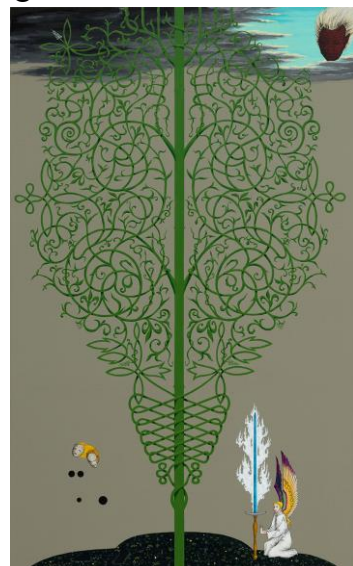
A



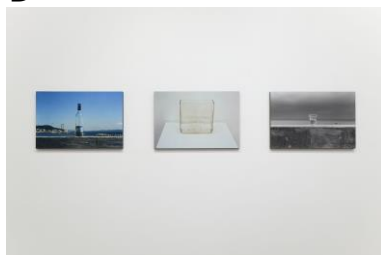
B



C



D



E



F



G



H



I

